

『地球から宇宙へ、そして小さな世界へ』 SSH講演会をZホールで開催

水沢高校全校生徒を対象にSSH講演会を10月25日に奥州市文化会館Zホールで開催しました。SSH講演会は、最先端科学技術への理解と興味・関心を高め、未来を担う科学技術系人材の育成を目的に、著名な研究者を招いて実施しています。本年度は社団法人SAVE IWATEの協力を得て、ドイツのマインツ大学齋藤武彦教授を講師に迎え、『地球から宇宙へ、そして小さな世界へ』と題したご講演を頂きました。

齋藤教授は原子核ハドロン物理学を専門とする国際的に活躍する研究者であり、ドイツのヘルムホルツ重イオン科学研究所(GSI)で研究グループリーダーを務め、ドイツヘルムホルツ研究所マインツにおける研究グループリーダーを兼任されています。さらに、2016年7月には中国で次世代大型重イオン加速器施設におけるハイパー核プロジェクトとエキゾチック原子核研究セクションの責任者となりました。東日本大震災をきっかけに、2012年から東北3県の被災した地域の学校や学習支援団体を訪問して、子供たちに科学の特別授業を届けるプロジェクトを行っておられ、「中学生のときに齋藤先生のお話を聞いた」という生徒もいたようです。

講演では、宇宙について、ドラえもんや岩手のご当地キャラ「わんこ兄弟」のそばっちを題材にした次元の話、私たちは宇宙人であること、天体の距離や宇宙の大きさ、星や星雲の数、宇宙の年齢などについて、わかりやすくユーモラスに説明されました。宇宙の謎に迫る上で、国際リニアコライダー(ILC)の意義、岩手がILCの設置候補地であり実際に設置されることになった後の岩手の予想の姿などをいろいろな視点で話して頂きました。また、海外で活躍されている齋藤先生ご自身の現在に至るまでの足跡を楽しく話して下さい、その中で、母国語の他に「英語+もう一つ」話せたほうがいい、自分の居場所は世界のどこかに必ずあるから「世界に目を向けて欲しい」と生徒へのメッセージを頂きました。



「宇宙」について語る齋藤先生



齋藤先生に謝辞を述べる代表生徒

講演会の終わりに、2年6組森岡秀光君が、「宇宙の話なので難しい話と思っていたけれど、教授の話はとてもおもしろく、分かりやすく内容がとても理解でき、興味が湧きました。また、教授の経歴は、思っていた以上に波瀾万丈だったのでびっくりしましたが、決断力や物事に対する考え方が参考になりました。」とお礼の言葉を述べました。

講演会の感想

- 武彦先生の話聞くのは2回目だったが、高校生になってから話を聞くとさらに詳しく理解することができた。講演はとても楽しく聞くことができた。ILCの説明からこれからの岩手について私たちの身の回りについて知ることができた。たくさんの国から外国人が来るので英語ができるようにならないといけないなと思った。先生の話聞いて岩手県はすごいんだなと思った。そこに住む人として、もっと岩手を知るなど私たちにできることをしていきたい。(3年)
- 前半の講義はこれまで別の方々の講演で聞いたことのある内容が多かった。私が特に驚いたのはその話し方・伝え方である。初めて宇宙や物理学の話聞く人、あまり興味のなさそうな文系の人にもわかりやすいよう、導入から終わりまで様々な工夫がなされていて凄いなと思った。研究や内容そのものも大切だが、伝える力はそれ以上に大切なものであるということを改めて感じた。今後参考にしていきたい。(3年)
- 今回の講演会の最初に講演者の方は、岩手はすごいということをアピールして始まったが、結局感じたのは、この人すごいという感情だった。すごい人がすごいと言っている場所はすごいのだと一人で納得した。近年、グローバル化がかなり進んでいるから海外を見ろと言われるが、今日の内容は本当にその重要さを感じた。自分の選択肢を広げることができたが、今の勉強でいいのかと少し不安にもなった。しかし、今は自分にやれることをやることが自分には合っていると考えられた。(2年)
- 私は、外国は怖いイメージが強くて行きたいと思わなかったけれど、だからこそってその先入観を壊す、ということも大事なかもしれないなと思った。また、差別に合ったときも、逆にそのことをプラスに捉えて乗り越えた話を聞いて、私もそう生きたいと思った。また、もっと英語をやっておけば良かったと後悔しないように今から頑張ろうと思えた。また、今いる、また置かれている環境に対して文句は言わないようにする。全て自分のためだと思えるようになりたい。(2年)
- 今回の講演会の内容は「宇宙」についての内容だった。私は先日、筑波研修でKEKを訪れ、加速器について学んでいたため、加速器の仕組みなどについて聞くのは2回目だったが、自分が知っていた内容を改めて理解することができ、欠けていた知識も知ることができた。今回の講演会で、岩手がILCの建設候補地であることの重要性を具体的に知ることができた。また、ILCや加速器についてさらに知りたいと思った。(2年)
- 教授の生き方にとっても感激した。自分の可能性は、無限にあるということを改めて教えてくれた。人間やってできないことはないということが分かり部活動や勉強に意欲が増した。人と同じことをやるのが嫌いというものが同じだと思った。流行のファッションやものに流されて生きたくはないので自分の好きなもの、個性を私は貫き続けている。宇宙物理学や初めて聞く科学分野に私は何も科学に関して知識がないということがよくわかった。今日の講演で知識が増えた。(1年)
- 今回のSSH講演会で話をしてくれた齋藤武彦先生は、事前に面白い先生だと聞いていたが、本当に話し方が上手で講演は一切飽きることなく話が聞けた。今回こうして物理学の世界をリードするような素晴らしい人の話を直接聞くことができ、自分の世界が広がったように感じた。将来に関して、そんなに難しく悩んで思い詰めるよりも、明るく前向きな姿勢で自分が一番実力を発揮できる場所を探すことが大切なのだということを知ることができた。生きてく上で、貴重な話を聞けてよかった。(1年)
- 今回の講演では、ILCの話からドラえもんの話まで幅広い話をしてもらい、今まで全く興味のなかった分野も面白く感じた。細かい難しい話はいくつかあったが、世界に目を向ける・外の世界に行ってみるといいうのを一番伝えたいことがよく伝わってきて、外の広い世界に目を向けることもいいことだなと思った。こんな機会がないとこういった分野の話聞けないと思うので、いい機会をくださった先生たちに感謝したい。(1年)

平成 29 年度科学の甲子園岩手県大会

水沢高校チーム 総合 3 位入賞

科学の甲子園岩手県大会が 10/21 に岩手県立総合教育センターで行われ、水沢高校の代表チームとして 2 年 6 組の 8 名が出場しました。実施筆記競技 3 位、実技競技① 2 位、実技競技② 3 位の成績で総合 3 位に入賞しました。